

図書だより 7月号



令和2年 名瀬小学校図書館

読書感想文コンクールのお知らせ

☆読書感想文コンクールのきまり

『趣旨（コンクールのねらい）』

- ・子どもが本に親しむ機会をつくり、読書の楽しさを知り、読書の習慣化を図る
- ・読書の感動を文章にすることを通して、考える力を育む

『応募区分』

- ①小学校 低学年の部（1・2年生）
- ②小学校 中学年の部（3・4年生）
- ③小学校 高学年の部（5・6年生）

『用紙』 原稿用紙

（400字詰めでなくてもよい）

『字数』 低学年は 800字以内

高学年は1200字以内

※字数の9割に達していない作品は、選外になります。

句読点と「 」も字数とみなされます。

『対象図書』

- ①自由読書・・・自由に選んだ図書

（教科書や雑誌、パンフレット類は対象外となります。教科書に載っていて、その元となる作品を読んで書いた場合は問題ありません）

- ②課題読書・・・主催者が指定した図書（学年別に紹介します）

ていがくねん む かだい としよ
低学年向きの課題図書



やま き
「山のちょうじょうの木のとっぺん」

もがみ いっぺい さく
最上 一平 作

いがらしくんは、おっちょこちょいの^{げんき ねんせい}元気な1年生です。にしやんは、いがらしくんとは^{せいほんたい せいかく}正反対の性格でした。いがらしくんとにしやんは、それぞれのやり方^{かた}で、犬のごんすけの死と向き合います。^{いぬ し む あ}

「おれ、よびだしになる」 ^{なかがわ さく} 中川ひろたか 作

「に～し～」 「ひが～し～」とお相撲さんの名前を^{すもう なまえ}呼び上げたり、土俵を作ったり…。大相撲の縁の下の^{よ あ どひょう つく おおずもう えん した}ちからも ^{よ だ}力持ち、「呼び出し」。そんな「よびだしさん」が大^{いす おおずもう せかい と こ しょうねん ゆめ かな}好きで、大相撲の世界に飛び込んだ少年が、夢を叶え^{ものがたり}る物語です。



「タヌキのきょうしつ」 ^{やました あきお さく} 山下 明生 作

子どもたちが帰ってから教室で楽しそうに勉強をし^{こ かえ きょうしつ たの べんきょう}ているタヌキたち。九九を覚えたり、歌を歌ったり。^{くく おぼ うた うた}しかし、しばらくすると、町には兵隊があふれ…。タ^{まち へいたい}ヌキの教室は一体どうなってしまったのでしょうか。^{きょうしつ いったい}

「ながーい5ふん みじかい5ふん」

リズ・ガートン・スキャンロンとオードリー・ヴァーニック ^{さく} 作

ならんでいる5分は長いけど、ジェットコースターの^{ふん なが}5分はあっという間！おなじ5分でも、どうしてこんなに^{ふん ま ふん}ちがうんだろう。長いのはどんなとき？短いのはど^{なが みじか}んなとき？感じる時間のちがいが楽しい絵本。^{かん じかん たの えほん}



ちゅうがくねん む かだい としよ
中学年向きの課題図書



あお まつい さく
「青いあいつがやってきた!？」松井 ラフ 作

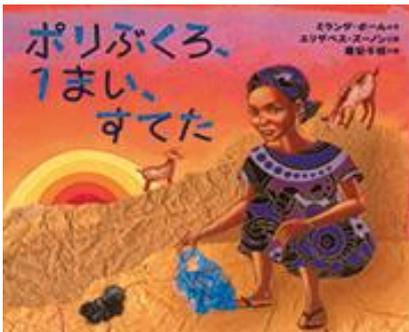
「よおっ!」と、とつぜんぼくの前にあらわれた、全身青いへ
ンなやつ。転校した学校で友達がなかなかできないぼくと、今日
いちにち あお
一日いっしょにすごす、だって! 「青いあいつ」にふりまわさ
れる「ぼく」の一日が始まった。

おう さく
「ねこと王さま」ニック・シャラット 作

ものがたり ぶたい ほん なか
物語の舞台は、イギリスです。本の中には、イギリスらしいも
で おう
のがたくさん出てきます。たとえば、王さまとねこがのっている
二かいだての赤いバス。巻末には、イギリスで紅茶と一緒によく
た つく
食べるクッキーの作りかたものっています!



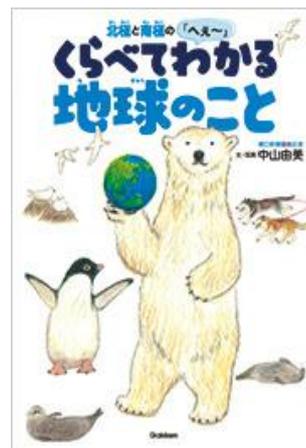
さく
「ポリぶくろ、1まい、すてた」ミランダ・ポール作



ちい やま
いまにきつと、小さなゴミの山もなくなって、わた
むら ねんまえ
しの村はむかしのようになつきれいになる…。20年前、
ゴミだらけだったアフリカで、仲間たちと一緒にポリ
ぶくろ じよせい でんき えほん
袋のリサイクルをはじめた女性の伝記絵本です。

ちきゅう なかやま ゆみ さく
「くらべてわかる地球のこと」中山 由美 作

ほっきょく だいひょう なんきょく だいひょう
北極の代表ホッキョクグマくと、南極の代表アデ
リーペンギンちゃんが、著者の中山記者といっしょに
きょくち ひみつ おし ほっきょく なんきょく
極地の秘密を教えます。北極・南極のすばらしさにふ
ちきゅう いま みらい かんが
れながら、地球の今と未来を考えるきっかけにしよ
う。



しょうかいぶん どくしょかんそうぶん ぜんこく こうしき ぼつすい
* 紹介文は「読書感想文 全国コンクール公式サイト」より抜粋

こうがくねん む かだい としよ
高学年向きの課題図書

「ヒロシマ 消えたかぞく」 指田 和 作



あいじょう かぞく にちじょやしん こうせいほんしよ
愛情あふれる家族の日常写真で構成された本書は、
げんぱく ざんこく なにげ にちじょう
原爆のむごさや残酷さだけでなく、何気ない日常こ
そが大事であり、へいわ つく わたし じしん
そが大事であり、平和を作っていくのは私たち自身
だ、ということに気づかせてくれます。

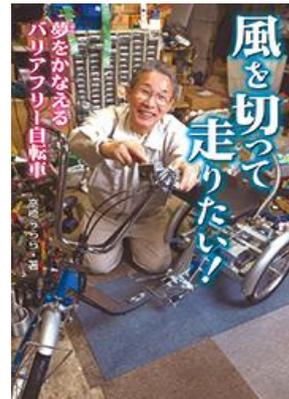


と ひやぽ さく
「飛ぶための百歩」 ジュゼッペ・フェスタ 作

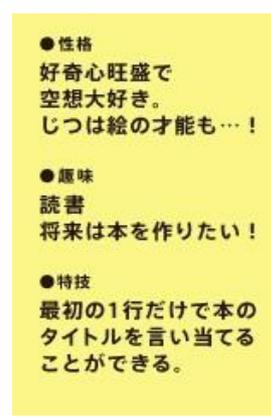
ちゅうがく そつぎょう さい とき しつめい だれ
中学を卒業したばかりのルーチョは、5歳の時に失明した。誰
ちから か い やま のぼ ひと かか
の力も借りずに生きていこうとするが、山を登り、人との関わり
とお おとな いっぽ ふ だ せいちよむのがたり
を通して大人への一步を踏み出す成長物語。

かぜ き はし たかはし さく
「風を切って走りたい！」 高橋 うらら 作

ほった けんいち つく からだ ふじゆう ひと あ せかい
堀田健一さんが作るのは、体の不自由な人に合わせた、世界
ひと じてんしゃ くる せいかつ なんと
一つの自転車。苦しい生活に、何度もくじけそうになりながらも
た あ すがた ゆうき ひと なん い
立ち上がる姿に勇気づけられます。「人は何のために生きるの
こころ かんどう じつわ
か」が心にしみる感動の実話です。



こんかいしょうかい ほん なせ しょうがっこう としよかん
☆今回紹介した本は、名瀬小学校の図書館
ろうか かざ
にあります。廊下のショーケースに飾られ
よ ほん としよ せんせい だ
ているので、読みたい本は図書の先生に出
よ
してもらって、ゆっくりじっくり読んでく
ださいね～☆



しょうかいぶん どうかんそうぶん ぜんこく こうしき ばっすい
* 紹介文は「読書感想文 全国コンクール公式サイト」より抜粋